

平成元年 3 月招集

第 1 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

◎第1号（3月1日）

開 会	4
議長の報告	4
議案の配付	4
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	5
会議日程の決定	5
議案第5号～議案第37号（施政方針並びに提案理由の説明）	5
延 会	24
本日の会議に付した事件	24

◎第2号（3月9日）

開 議	26
議長の報告	26
行政一般通告質問	26
神田 守隆君の質問、当局の応答	26
辻田 実君の質問、当局の応答	48
田沢 勝信君の質問、当局の応答	67
石井 謀君の質問、当局の応答	84
日下 君敏君の質問、当局の応答	96
延 会	115
本日の会議に付した事件	115

◎第3号（3月10日）

開 議	118
行政一般通告質問	118
流山源次郎君の質問、当局の応答	118

脇田 安保君の質問、当局の応答	137
散 会	153
本日の会議に付した事件	154

◎第4号（3月13日）

開 議	157
議案第12号～議案第34号	158
辻田 実君の質疑、当局の応答	158
神田 守隆君の質疑、当局の応答	174
山中金治郎君の質疑、当局の応答	191
委員会付託	192
議案第35号～議案第37号	193
辻田 実君の質疑、当局の応答	193
神田 守隆君の質疑、当局の応答	197
委員会付託	206
請願第17号	206
委員会付託	206
議長の報告	206
延 会	207
本日の会議に付した事件	207

◎第5号（3月14日）

開 議	210
議案第5号～議案第11号	210
神田 守隆君の質疑、当局の応答	210
辻田 実君の質疑、当局の応答	224
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	242
延 会	243
本日の会議に付した事件	243

◎第6号（3月24日）

開 議	248
議案の配付	248
継続審査について	248
議案第12号～議案第23号、議案第35号	249
総務委員会委員長報告	249
辻田 実君の討論	252
神田 守隆君の討論	256
採決	256
議案第24号～議案第26号、議案第28号	
議案第29号、議案第36号	259
文教民生委員会委員長報告	259
辻田 実君の討論	261
採決	263
議案第30号、議案第31号、議案第34号、議案第37号	264
建設経済委員会委員長報告	264
採決	265
議長の報告	266
議案第5号～議案第11号	266
予算審査特別委員会委員長報告	266
辻田 実君の討論	273
神田 守隆君の討論	276
日下 君敏君の討論	278
林 豊君の討論	279
採決	281
議案第38号	282
説明	282
委員会付託の省略	283

採決	283
議案第39号	283
説明	284
委員会付託の省略	284
採決	285
館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	285
発議案第1号	286
説明	286
委員会付託の省略	288
採決	288
日程の追加・発議案第2号	288
説明	289
委員会付託の省略	290
神田 守隆君の討論	290
採決	291
閉 会	291
本日の会議に付した事件	291

第 1 回館山市議会定例会会議録

(第 1 号)

1 平成元年3月1日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 脇田 安保
3 番 田沢 勝信
5 番 岩村 勝弘
7 番 生稲 隆
9 番 山口 康雄
11 番 神田 守隆
13 番 山中金治郎
15 番 横溝 功
17 番 石井 謀
19 番 川名 正二
21 番 辻田 実
23 番 流山源次郎
26 番 近藤 好雄
28 番 飯田 義男

2 番 永井 龍平
4 番 庄司二三男
6 番 山崎 雅己
8 番 鈴木 勝美
10 番 鈴木 忠夫
12 番 榎本 春光
14 番 小宮 利夫
16 番 石井 昌治
18 番 日下 君敏
20 番 福原 勤
22 番 黒川 平治
25 番 渡辺 昭夫
27 番 林 豊

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 渡辺 弘
総務部長 渡辺 秀夫
経済部長 安西 良一
教育委員会 杉村 芳枝
選挙管理委員会 加藤 利
監査委員 鈴木 重司
農業委員会 斎藤 明

助役 小倉 澄男
市長公室長 錦織 茂
民生部長 小幡 清之
水道課長 鈴木 信一
教育委員会 福原 修
選挙管理委員会 佐藤 澄雄
監査事務局 熊坂 桂一
農業委員会 池田 六郎

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第1号）

平成元年3月1日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第 5号 平成元年度館山市一般会計予算

議案第 6号 平成元年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第 7号 平成元年度館山市老人保健特別会計予算

議案第 8号 平成元年度館山市ユースホステル特別会計予算

議案第 9号 平成元年度館山市学童災害共済事業特別会計予算

議案第10号 平成元年度館山市水道事業特別会計予算

議案第11号 平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

議案第12号 千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

議案第13号 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の制定について

議案第14号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第15号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第16号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

日程第 4

- 議案第 17 号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 18 号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 19 号 館山市ふるさと創生基金条例の制定について
- 議案第 20 号 館山市庁舎建設基金条例の制定について
- 議案第 21 号 館山市文化振興基金条例の制定について
- 議案第 22 号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 23 号 財産の無償譲渡について
- 議案第 24 号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 25 号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 26 号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 27 号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 28 号 館山市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の制定について
- 議案第 29 号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 30 号 館山市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 31 号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 32 号 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 33 号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正す

る条例の制定について

議案第34号 市道路線の変更及び認定について

議案第35号 昭和63年度館山市一般会計補正予算（第5号）

議案第36号 昭和63年度館山市老人保健特別会計補正予算
（第2号）

議案第37号 昭和63年度館山市国民宿舎事業特別会計補正
予算（第1号）

開 会 午前10時03分

◎議長（飯田義男君） 本日の出席議員数26名、これより平成元年第1回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（飯田義男君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から12月乃至1月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（飯田義男君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（飯田義男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

12番議員榎本春光君、15番議員横溝 功君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

◎議長（飯田義男君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本3月1日から3月24日までの24日間ということであります。

お諮りいたします。会期を24日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、会期は3月1日から3月24日までの24日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（飯田義男君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりまして、その都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長（飯田義男君） 日程第4、議案第5号乃至議案第37号の各議案を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

◎議長（飯田義男君） これより平成元年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

半澤市長。

(市長半澤良一君登壇)

◎市長(半澤良一君) 本日、ここに3月定例会市議会を招集し、平成元年度一般会計及び特別会計の予算案並びに諸議案につきまして御審議をお願い申し上げますが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べたいと存じます。

最近の我が国経済は、内需主導型の経済成長が実現し、景気は個人消費と民間設備投資を中心として持続的な拡大傾向にあります。国の財政は、改善傾向にあるものの、なお収支の不均衡や国債費負担等により、引き続き厳しい状況が続いている中で、税制改革等、財政面での大きな転機を迎えております。地方財政においても、累積した多額の借入金残高を抱えるなど、依然として厳しい状況にあり、早急に財政構造の健全化を図ることが求められております。

平成元年度は、市制施行50周年の記念すべき節目の年でございます。昭和14年11月3日に館山北条町、那古町、船形町の3町が合併して館山市が誕生いたしました。その後、昭和29年5月3日に西岬村、神戸村、富崎村、豊房村、館野村、九重村の6カ村との合併により、現在の館山市となったわけでございます。顧みますと、館山海軍航空隊に象徴される軍都の色彩が強かった時代に始まり、終戦による混乱と苦難の時代を経て、高度経済成長による人口の流出やオイルショックによる経済の低迷など、幾多の困難を克服し、本市は南房総の政治、経済、文化の中核都市として、着実に発展してまいりました。また、この間には南房総国定公園や国民休暇村の指定などを受け、広く首都圏の保養、レクリエーションゾーンとして親しまれ、休養文化都市としても歩み続けてまいりました。昭和の激動する時代の中で、現在の館山市を築き上げてまいりました先人たちの努力と英知に対しまして、改めて深い敬意と感謝の意を表するとともに、市政担当者としてその重責を痛感いたすところでございます。

私は、市長就任以来、人間尊重を基本理念として、市民生活の向上と市政の発展に邁進してまいりましたが、市制施行50周年を契機といたしまして、さらに館山市総合計画に掲げる「活力ある文化福祉都市」の実現に向けて、

最善の努力を傾注してまいり所存でございます。

平成の時代を迎えた今、南房総地域は21世紀へ向けて大きく飛躍する転換期に直面しております。東京湾横断道路が本年いよいよ着工の運びとなり、これにあわせて東関東自動車道館山線が事業化に向けて着実に動き出しております。長年の念願であった広域的な動脈が確実に整備されようとしています。さらに、本年10月にオープンする幕張メッセを初めとする千葉新産業三角構想や、半島振興計画事業の進展、とりわけ総合保養地域整備法に基づく「房総リゾート地域整備構想」が、この3月には国の承認が得られる見込みとなっており、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた当地域が、半島性から脱却する絶好の機会が到来しているといえます。

このため、館山市総合計画の中で地域振興の柱として位置づけた「海洋性リゾートタウン」の建設に向けて、全力を挙げて取り組んでまいり所存でございます。リゾート地づくりは、住んでいる人々が快適な環境の中で、経済的にも精神的にも豊かな生活を享受することができるような地域社会づくりであり、総合的なまちづくりであると考えます。したがって、広く市民の参加と協力のもとに、本市の特性を生かした個性あるリゾートタウンの実現を目指してまいります。

このような基本的認識に立ち、本年度の予算は、館山駅周辺市街地整備事業、道路交通網整備事業、河川等の公共用水域の浄化対策、上下水道整備事業、都市公園整備事業、海洋性リゾートタウン整備事業等を重点に、効率的な行財政運営に意を配して編成いたしました。また、市制施行50周年を市民とともに祝う事業として、記念式典、記念誌の発行、館山市讃歌の制作に加え、イベントといたしましては、南国館山の自然を生かした国際的な民族音楽の祭典を企画し、新しい地域文化の振興と「リゾート館山」のイメージアップを図ろうと考えております。このほかにも、市民各層の方々が楽しみ、喜べる数々の事業を展開してまいります。

以下、主要事業の概要につきまして、順次御説明申し上げます。

第1は、快適でゆとりある生活環境都市づくりでございます。

都市発展の基礎となる基盤施設の整備は、利便性、快適性を確保しつつ、

高質な都市環境を創出する観点から、年次的な整備充実に努めているところでございます。

まず、最優先施策として推進している館山駅周辺市街地整備事業につきましては、地域住民とのより一層の合意形成を図りつつ事業を推進するため、新たに館山駅周辺整備事務所を建設し、早期実現を目指してまいります。

西口地区の土地区画整理事業につきましては、3月中には事業計画を決定し、本年度は換地設計を実施するとともに、事業の進捗を図る上から、権利者の同意を得て沼地地盤改良工事に着手いたします。また、引き続き用地の先行取得に努めるほか、北条海岸排水路整備事業を実施いたします。

東口地区の市街地再開発事業につきましては、研究会や整備推進協議会に対する助成を通じて、権利者等との協議を重ね、合意形成を図った上で基本計画を策定してまいる考えでございます。

道路交通網の整備につきましては、交通体系のかなめであります国道 127 号館山バイパス及び八幡高井線が本年度中に完成し、全線が供用開始される運びとなっておりますが、これに伴い、八幡高井線に接続する船形館山港線の拡幅を図るため、リゾート地にふさわしい沿道修景に配慮しながら基本設計等を手がけ、事業認可を受けてまいりたいと存じます。また、東関東自動車道館山線並びに主要地方道館山白浜線のバイパス及び国道昇格の早期実現のために、関係機関に対して積極的な働きかけを行ってまいります。さらに、生活に密着した市道等の整備につきましては、改良、舗装及び河川、橋梁整備等を地域の実情に即して実施し、利便性、安全性の向上に努めてまいります。

市民の憩い・やすらぎの場として親しまれ、観光の拠点を目指す城山公園は、計画的な整備を進めているところでございますが、本年度は日本庭園及び茶室を建設いたします。また、県立館山運動公園は、本年度中に南房総随一の機能を有する体育館が完成いたしますので、健康体力づくりの場として、さらには地域振興資源としての有効な活用方策について、県等と協議を進めてまいる考えでございます。

上水道の整備につきましては、市民生活の向上とリゾート開発等に関連す

る水需要の増大に対応し、長期的な安定水源を確保するため、安房、夷隅地域の広域的な水道施設の整備促進について県等へ積極的に働きかけ、早期実現を図ってまいります。また、当面する水需要の増加に対応し、作名ダムの水源を確保するため、揚水施設改良工事等を実施いたします。

下水道の整備につきましては、公共下水道の建設に向けて基本計画を策定するとともに、建設に関する市民の理解を得るため、その周知に努めてまいります。また、六軒町下水路等の都市下水路や地区排水路の整備を推進いたします。

環境対策につきましては、公共用水域の総合的な浄化対策に取り組んでいるところでございますが、本年度は三軒町排水路にかかわる生活排水処理施設が完成するとともに、新たに館山湾の水質汚濁の一因と考えられている汚泥の対策を推進するため、館山湾汚泥堆積調査を実施いたします。また、引き続き小型合併処理浄化槽の設置に対する補助及び市民への啓発や実践活動の促進を図ってまいります。

自然環境対策につきましては、本年度も館山湾海浜現況調査及び解析を行い、海浜整備等の基礎資料として活用してまいりたいと考えております。

第2は、温かい心の通う健康福祉都市づくりでございます。

市民一人一人が「こころ」と「からだ」の健康を増進することで、生きがいのある幸せな生活が送れるような地域社会の実現を目指し、総合的な健康福祉体制の整備を進めてまいります。

まず、保健、医療に関する施策につきましては、乳幼児等の疾病予防のために予防接種等を実施するとともに、成人病予防対策として総合検診を全市域で行ってまいります。また、健康づくりは何よりもみずから行うことが大切であるという基本姿勢に基づきまして、「市民健康まつり」の拡充等により、健康思想の普及、啓蒙を図り、総合的な健康づくりを積極的に推進してまいります。

スポーツ・レクリエーションに関する施策につきましては、市民の健康づくりと南房総館山を広く紹介するため、「館山若潮マラソン大会」を一層充実させてまいります。また、50周年記念事業の一環として、バレーボール教

室を開催するとともに、全市的規模の大会に市長賞を贈り、スポーツの底辺拡大とその普及を図ってまいります。

市民福祉の充実につきましては、まず地域の人たちの温かい心の通うサービスこそが、心豊かな福祉社会の実現に必要であると考え、ボランティア活動を初め、地域ぐるみの福祉活動を社会福祉協議会と協力しながら一層推進してまいります。

当市におきましても、人口の高齢化が進んでいるわけですが、高齢者がみずからの豊かな経験と能力を生かした社会参加と、生きがいの持てる充実した日常生活を送れるよう、適切な仕事を提供する高齢者事業団の設置を引き続き検討をいたします。また、介護を必要とする高齢者には、自宅で安心した生活が送れるように、老人家庭奉仕員の派遣や移動入浴車による入浴サービス、あるいは短期入所等、それぞれの制度を活用した在宅福祉を推進してまいります。

また、心身に障害があり、日常生活を営む上で支障のある方々に対しましては、日常生活用具の給付や身体障害者家庭奉仕員を派遣するとともに、福祉タクシー利用助成制度を新設し、重度心身障害者の社会参加を促進いたします。また、在宅の心身障害児に対しましては、通所による理学療法士の訓練指導を行うなど、身体的ハンディキャップを克服し、家族と一緒に生きがいのある生活が送れるような施策を積極的に展開してまいります。

第3は、地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくりでございます。

地域文化の高揚は、学校教育、社会教育、芸術文化など、あらゆる機会を通じて我がまち「館山」の文化を知り、誇りと自信を持つことによって実現できるものと考えます。

学校教育は、一人一人の個性や能力を十分に引き出しながら、心身ともにバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、国際化社会に対応した教育を推進するため、引き続き外国人教師を招聘し、国際理解と国際感覚の醸成、教育内容の充実に努めてまいります。また、豊房幼稚園に4歳児学級を新設し、幼児教育の充実を図ってまいります。施設整備の面では、2年目を迎え

る北条小学校の大規模改修のほか、本年度は神戸小学校の改修を実施いたします。

社会教育でございますが、平均寿命の伸びや余暇時間の増大、知的水準の向上を反映し、生涯学習に対する欲求は質、量ともに高度化、多様化してきているところでございます。このため、従来から進めてきております各種学級や講座の充実に努めるとともに、社会教育関係団体の自主的活動を助成し、その育成を図ってまいります。

また、昨年度市民愛好者により結成されました「市民オーケストラ」や、既存の文化団体へ助成し、地域に芽生えた文化の息吹を大きく育ててまいりたいと考えております。

こうした文化に対する関心と意欲の高まる中、さまざまな文化に接する機会の拡充を図るため、「館山市文化振興基金」を設置し、従来から進めてまいりました造形作品の設置やすぐれた美術品の購入、歴史等の資料収集のために運用してまいります。

本年度市制施行50周年の記念すべき年を迎えるに当たり、南総里見八犬伝をテーマとする博物館による特別企画展の開催や、郷土芸能の伝承、活性化を目的とする「民俗芸能フェスティバル」（仮称）を実施いたしますとともに、新たな地域文化の創造を目指して、「国際民族音楽フェスティバル」（仮称）を開催してまいります。このような活動を通して、市民とともに地域文化の創造、振興に努めてまいります。

第4は、創造力と活力に満ちた産業都市づくりでございます。

海洋性リゾートタウン計画につきましては、高質なリゾート地形成に向けて、海外先進リゾート地の視察研修を実施するとともに、リゾート研究会を運営し、会員相互の連携を保ちつつ、リゾート開発における地域イメージの統一を図ってまいります。さらに、館山湾への海上交通の開設や、活用方法を検討するため、アトラクティブ鏡ヶ浦基本計画を策定するとともに、心身の健康をテーマとしたウエルネス・リゾートパーク整備基本計画を策定し、その実現に向けて努力してまいります。

農業につきましては、就業者の減少による労働力の低下や他産業との格差

を解消し、生産性の高い経営を可能とするため、主要農道、ほ場等の生産基盤を整備するとともに、野菜、花卉類の生産、集出荷施設の充実強化を進め、農産物の高付加価値化を図り、農業の振興を推進いたします。さらには、まちとむらの交流促進事業を推進し、就業機会の増大と農業経営の安定を図り、活力ある農村社会の形成を図ってまいります。

水産業は、漁港及び関連施設を充実させてまいりますとともに、「つくり育てる漁業」を基本姿勢に、磯根資源の増大を図るため、種苗放流、魚礁設置を進め、漁場生産力を高めるとともに、漁業経営の安定を図ってまいります。また、漁獲物の付加価値を高めるため、流通施設、養殖施設の整備を図り、漁業協同組合の経営基盤強化を推進いたします。

さらに、市制施行50周年記念事業として、地元産品普及の意味で「産業まつり」を実施いたします。

商業につきましては、商工業者の設備投資に対する融資や利子補給などを通じて、経営の合理化、近代化を図ってまいりますとともに、商工会議所及び商店会連合会等の関係団体に対して助成し、活動の強化充実を促進してまいります。

観光につきましては、関係団体との連携のもとに、地域の特性を持った観光資源を積極的に活用し、各種イベントを実施いたしますとともに、農漁業、スポーツ等の他産業との結びつきを深め、観光関連産業の育成強化を図ってまいります。また、幕張メッセのオープンに伴い、財団法人千葉コンベンションビューローの設立が予定されておりますが、本市もこれに加わる中で、積極的にアフターコンベンションにおける観光需要を誘導してまいります。また、フラワーライン沿道を中心とした花木の植栽を進め、地域イメージの高揚により、四季を通じての誘客を図ってまいります。

第5は、自立と連帯で築くコミュニティ都市づくりでございます。

魅力ある「ふるさと」を創生していくためには、市民一人一人が自覚と責任を持ってまちづくりに参加してこそ、初めて可能になるものと考えます。

コミュニティ活動の活性化は、市民自治確立の第一歩であるとともに、失われつつある地域連帯感の育成に必要なものであります。また、リゾ

ートによる地域振興を進めている当市にとって、コミュニティ活動活性化による人情や、人をもてなす温かい心の醸成は最も重要な要素となり得るものでございます。

市民の自主的、自発的なコミュニティ活動がより一層発展するよう諸条件づくりを積極的に推進してまいりますが、ふるさと創生1億円事業につきましては、市民から企画書を募集中であり、市制施行50周年記念事業とともに、郷土を愛し、地域を考え、みずからが実践していく契機としていきたいと考えております。また、各地区コミュニティ活動の一環として実施いたします50周年記念植樹に対して助成してまいります。さらに、市民参加により進めてまいりましたクリーン・アンド・ビューティフル運動は、コミュニティ連絡協議会や町内会連合協議会などの関係団体及び機関と共同して、一層地域に根差した運動となるよう積極的に推進してまいります。

行財政運営でございますが、本年度から不燃ごみの多様化と増加に伴い、その収集運搬業務を民間へ委託し、収集事業の効率化を図ってまいります。また、行政事務の多様化、高度化に対応するため、庁舎建設基金を設置し、将来の新庁舎建設に備え、財政負担の軽減を図ってまいります。

以上の施策を中心といたしまして、平成元年度館山市一般会計予算の編成を行いました結果、歳入歳出予算の総額は109億426万余円で、前年度予算に対し6億7,580万余円、6.6%の増となっております。

歳入予算の内容についてでございますが、社会経済情勢の動向、国・県の予算編成方針、地方財政計画、本市の現状及び過去の実績などを十分配慮し、算定いたしました。

まず、市税では、国の消費税導入に伴う税制の抜本的改革を踏まえて、平成元年度税制改正等を勘案いたしまして53億8,272万余円を計上いたしましたほか、今年度創設されました消費譲与税を含めた地方譲与税2億8,744万余円、地方交付税13億3,000万円、分担金及び負担金1億5,745万余円、使用料及び手数料3億3,279万余円、国庫支出金8億5,770万余円、県支出金5億495万余円、繰越金3億円、諸収入3億243万余円、市債9億5,000万円、その他4億9,874万余円を計上いたしました。

次に、歳出予算についてでございますが、事務事業の効率化を図り、徹底した節減を行うとともに、館山市総合計画の計画事業を着実に達成することを基本姿勢といたしまして、投資的経費への財源配分に意を用い、通年型予算を編成いたしました。

まず、性質別の内容についてでございますが、人件費30億 4,066万余円、物件費13億 554万円、扶助費9億 686万余円、普通建設事業費28億 1,104万余円、公債費11億 4,317万余円、その他16億 9,697万余円となっております。

以下、各款別に申し上げます。

第1款議会費は、議会運営に要する経費といたしまして、2億 792万余円。

第2款総務費は、一般管理費、文書広報費、防災、防犯、交通関係費、徴税費と市制施行50周年記念事業費及び7月に予定されます参議院議員選挙にかかわる経費を中心に、14億 595万余円。

第3款民生費は、ボランティア活動を初めとする地域ぐるみの福祉活動費、障害者・児童福祉対策、青少年健全育成対策、高齢化社会に対応する老人福祉対策、生活保護費等を中心に、16億 5,866万余円。

第4款衛生費は、各種検診等健康の保持増進対策、河川及び家庭雑排水等の浄化対策、清掃・衛生施設の整備、水道事業に対する繰出金等を中心に、12億 6,950万余円をそれぞれ計上いたしました。

第5款労働費は、勤労者の厚生対策、各種勤労団体への補助金等の経費で、784万余円。

第6款農林水産業費は、生産基盤整備のための農道整備及び土地改良事業、花卉産地育成事業やまちとむらの交流事業費等農業振興費、水産物の安定供給及び水産資源の開発対策、生産基盤の整備としての漁港整備等を中心に、5億 8,197万余円。

第7款商工費は、商工団体への補助等商工業振興対策、中小企業金融対策、地域振興対策として総合的な海洋性リゾートタウン形成のための計画策定費、観光行事への補助等観光振興対策、観光地美化対策等を中心に、1億 9,732万余円。

第8款土木費は、道路、河川、館山駅周辺の市街地整備及び都市公園の充

実等の経費を中心に、22億 3,194万余円。

第9款消防費は、消防施設整備、消防団関係費、広域消防にかかわる負担金等を中心に、4億 5,677万余円。

第10款教育費は、教育環境整備のための北条小学校及び神戸小学校の校舎等改修工事ほか、各学校及び幼稚園施設の整備、維持管理、各種文化の振興対策、公民館費、図書館費、市民センター費、博物館費、各種スポーツ振興対策等を中心に、14億 6,170万余円をそれぞれ計上いたしました。

このほか、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金及び第14款予備費において、計14億 2,463万余円を計上いたしました。

次に、債務負担行為といたしまして、館山市農業協同組合が農道整備資金として、農林漁業金融公庫から融資を受けた借入金の償還に対する補助につきまして設定いたしました。地方債といたしまして、生活排水処理施設整備事業を初め7件を予定し、一時借入金については最高限度額を10億円といたしました。

以上が議案第5号の概要でございますが、次に議案第6号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第6号 平成元年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出につきまして、医療費及び老人保健拠出金の過去の実績等を考慮いたしますとともに、歳入につきまして、一般会計及び保険基盤安定制度による繰入金措置を講じ、その結果、歳入歳出それぞれ31億 2,371万余円を計上いたしました。

次に、議案第7号 平成元年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療費の増高傾向等過去の実績等を勘案し、一般会計からの繰入金1億 4,828万余円を含めまして、歳入歳出それぞれ30億 1,376万余円を計上いたしました。

次に、議案第8号 平成元年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ 2,405万余円を計上いたしました。

次に、議案第9号 平成元年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でご

ざいますが、歳入歳出それぞれ 206万余円を計上いたしました。

次に、議案第10号 平成元年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして水道料金、手数料等6億 4,912万余円、収益的支出といたしまして営業費用、企業債利息等で6億 4,322万余円、また、資本的収入といたしまして、一般会計からの出資金及び加入者分担金等で 8,063万余円、資本的支出といたしまして、水道施設工事費等建設改良費及び企業債償還金等で3億 147万余円を計上いたしました。

次に、議案第11号 平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料金等で1億 9,463万余円、収益的支出といたしまして、宿舎経営費等営業費用及び支払利息等で1億 8,978万余円、資本的支出といたしまして、企業債償還金等で 544万余円を計上いたしました。

以上、各会計の平成元年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、一般会計及び特別会計予算総額は 182億 780万円でございます。

次に、議案第12号 千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでございますが、千葉県市町村総合事務組合長より、千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正することについて協議があったものでございます。この規約改正は、執務場所を現在の住居表示にすること及び長生病院組合が解散したことに伴う改正で、関係地方公共団体の協議が整った日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第13号 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の制定についてでございますが、公務員等の懲戒免除等に関する法律に基づき、今回、昭和天皇の崩御に伴い制定するものであり、昭和64年1月7日前の行為につき、平成元年2月24日前に減給または戒告の懲戒処分を受けた者及び昭和64年1月7日前の事由による職員の賠償責任に基づく債務を将来に向かって免除しようとするものでございます。

次に、議案第14号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の報酬額

は、昭和63年4月に改定されたものでございますが、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去における報酬額改定等を考慮いたしまして、市議会議員に関する報酬額につきましては、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、この答申を尊重し、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。また、各種行政委員会の委員及びその他の特別職の報酬につきましても、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第15号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、まず給料につきましては、昨年4月に改定いたしましたが、その後一般職につきましては、昭和63年度の給与改定が4月にさかのぼり実施されており、また県内各市との均衡、過去の改定の経緯等を考慮いたしまして、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、本年4月1日から改定しようとするものでございます。また、旅費についてでございますが、現行の旅費額は昭和56年4月に改定されたものであり、その後の宿泊施設利用料金の上昇、県内各市の現況等を考慮いたしまして、本年4月1日から宿泊料を改定しようとするものでございます。

次に、議案第16号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回収入役の給料と同額にしようとするものでございます。

次に、議案第17号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、前年の人事院及び千葉県人事委員会における一般職員の給与に関する勧告のうち、給与の適正化等につきまして措置しようとするものでございます。

次に、議案第18号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の宿泊料は、改定後既に8年を経過しており、県内各市の現況等を考慮いたしまして本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第19号 館山市ふるさと創生基金条例の制定についてござい

ますが、自治省において地方の自主的・主体的な地域づくりを推進するため、みずから考え、みずから行う地域づくり事業が創設されました。市町村がこの事業を実施する際は、広く住民参加を図るようにとの指導があり、現在市民から企画書を募集中ですので、本事業にかかわる資金に充てるため、基金条例を制定しようとするものでございます。なお、この事業に要する経費として、1億円が昭和63年度及び平成元年度に分けて、地方交付税上措置されることになっております。

次に、議案第20号 館山市庁舎建設基金条例の制定についてでございますが、新たな庁舎建設に備え、その資金を積み立てて財政負担の軽減を図るため、基金条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第21号 館山市文化振興基金条例の制定についてでございますが、市民の芸術文化に接する機会拡充を図るため、館山市立博物館資料購入基金条例を発展的解消し、博物館の資料収集に加え、従来から進めてまいりました造形作品の設置や、すぐれた美術品をより円滑に購入できるように、新たな基金制度を設置しようとするものでございます。

次に、議案第22号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これは去る12月30日に公布された地方税法の一部を改正する法律にあわせて改正しようとするものでございます。

今回の改正の主なものは、第1に、個人市民税についてでございますが、第1点として中堅所得者層を中心とする負担累増感に配慮する等の観点から、本年度より最低税率3%の適用範囲が、課税所得60万円から120万円までに拡大され、税率も7段階から3段階に緩和、簡素化されております。

第2点は、障害者、未成年者、老年者、寡婦等の社会的弱者に対する非課税限度額が100万円から125万円に引き上げられております。

第3点は、長期譲渡所得に対する4,000万円を超える場合の税率が、総合課税をした場合の累進税率から5.5%の比例税率となっております。

第4点といたしまして、増税となる部分でございますが、新たに株式等の譲渡による所得について、4月1日から所得税において源泉分離課税を選択した場合を除き、他の所得と分離して4%の税率で課税されることとなって

おります。

次は、間接税の電気税、ガス税及び木材引取税でございますが、消費税が創設されることによって、本年4月1日から廃止されることとなります。

また、たばこ消費税につきましては、名称が「たばこ税」に変わり、消費税と併課されることとなり、税率が従価割と従量割となっていたものが、従量割のみとなっております。

以上が今回の主な改正点でございますが、このほか地方税法の一部を改正する法律に基づきまして、所要の改正をしてございます。

詳細につきましては説明資料により、御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第23号 財産の無償譲渡についてでございますが、本議案は議案第26号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてと関連がございますが、設置後20年を経過した4青年館を、地元町内会等に無償譲渡しようとするため、地方自治法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第24号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、幼稚園長兼務手当及び地区公民館書記兼務手当につきましても、他の特別職の職員と同様、本年4月1日から手当額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第25号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、金融機関の土曜全面休業に伴い、保育料の納入期限が土曜日に当たった場合には、次の日曜日または休日でない日に納入期限を延長しようとするものでございます。

次に、議案第26号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、設置後20年を経過した4青年館につきまして、これを廃止し、多面的な利用を図るため、地域のコミュニティ集会施設として地元町内会等に払い下げしようとするものでございます。

次に、議案第27号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、し尿収集につきましては財団法人館山市環境保全公社で行っておりますが、本年4月1日から消費税法が適

用されることに伴い、し尿収集につままして消費税相当分を加算し、消費税負担の適正かつ円滑な転嫁を図るため、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第28号 館山市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の制定についてでございますが、館山市における土地の埋め立て、盛り土及び堆積行為をするに当たり、環境の保全と災害の防止を図るため必要な規制を行うことにより、市民の健康で安全かつ快適な生活環境を保持することを目的とする条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第29号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、まず副分団長の制度の導入についてでございますが、近年、消防団員の就業構造の変化に伴い、地域に密着した分団単位での活動が増加しており、分団長の責務はますます重要性を加えております。このため、幹部団員の養成、災害時の指揮命令系統整備等、地域防災活動の万全を図るため、国で定める消防団員の階級準則に基づく副分団長の階級を新たに設けようとするものでございます。また、団員の報酬額につままして、県内各市及び近隣町村との均衡等を考慮いたしまして、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第30号 館山市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国及び県の占用料、使用料等に準じまして館山市道路占用料徴収条例、館山市都市公園条例及び館山市漁港管理条例をそれぞれ改正しようとするものでございます。

次に、議案第31号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本議案は議案第25号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例と同様、金融機関の土曜全面休業に伴い、家賃の納入期限が土曜日に当たった場合には、次の日曜日または休日でない日に納入期限を延長しようとするものでございます。

次に、議案第32号 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年4月1日から消費税法が適用されることに伴い、消費税相当分を加算し、消費税負担の適正かつ円滑な転嫁を図るため、

本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第33号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年4月1日から消費税法が適用されることに伴い、国の示す利用料標準に基づいて、消費税相当分を加算し、宿泊予約金につきましては、千葉県国民宿舎連絡協議会の申し合わせにより改正し、消費税負担の適正かつ円滑な転嫁を図るため、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第34号 市道路線の変更及び認定についてでございますが、市道1198号線を路線変更し、新たに7045号線外2路線を市道に認定しようとするものでございます。

次に、議案第35号 昭和63年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ3,872万4,000円を追加し、総額106億1,014万8,000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、総務費では退職者の増によりまして、千葉縣市町村総合事務組合負担金で900万円、地方バス生活路線5路線を維持するための補助金といたしまして389万8,000円、自ら考え自ら行う地域づくり事業に備えるため、館山市ふるさと創生基金を設置し、繰出金で2,000万円、民生費では館山市社会福祉振興基金に対し、地域福祉活動に資するため社会福祉振興基金助成金で2,634万6,000円、奨学資金寄附金及び奨学基金利子の増によりまして繰出金で287万1,000円、老人ホーム入所措置扶助費で事務費改定及び一時金の支給によりまして133万1,000円、また老人保健特別会計繰出金で3,456万5,000円、これは老人医療費に伴う支払基金交付金及び国・県負担金の交付が一部翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするためのものでございます。衛生費ではごみ収集自動車購入費で1,105万円、観光費では国民宿舎事業の経営健全化を図るための出資金で1億8,850万円、消防費では消火栓の新設、布設がえ及び取りかえの増によりまして負担金で114万2,000円、諸支出金では土地開発基金繰出金で645万9,000円、財政調整基金積立金で1,115万5,000円、これらは

運用利子相当分でございます。

次に、歳出予算の減額の主なものといたしましては、総務費では大工臨時職員の採用ができなかったことによりまして、賃金で 246万 9,000円、民生費では児童福祉法第51条による措置委託料で 666万 3,000円、被用者児童手当及び非被用者児童手当で 254万 7,000円、生活保護費の各種扶助費で 1,391万 2,000円、これらは措置児童数、対象児童数及び医療扶助受給者数等が当初見込みを下回ったことによるものでございます。衛生費ではインフルエンザ予防接種者等の減によりまして、薬品購入費で 246万円、電気料金の引き下げ及び契約電力の変更等によりまして、清掃センター及び粗大ごみ処理施設の電気使用料で 500万円、衛生センターの電気使用料で 800万円、汚泥焼却用燃料費で使用量の減によりまして 1,150万円、三芳水道企業団負担金で 4,496万 8,000円、これは福沢ダム関係の工事休止及び企業債利息の引き下げによるものでございます。農林水産業費では、農道整備工事請負費で事業量変更に伴う実施事業費の減によりまして 659万 3,000円、土木費では道路改良、舗装工事請負費で事業量の変更によりまして 1,500万円、館山湾海浜現況調査及び解析業務の調査内容等の変更によりまして、委託料で 421万円、館山港整備等工事の事業量の変更によりまして、負担金で 219万円、館山駅東口地区市街地再開発事業に係る基本計画作成委託料で、未執行によりまして 300万円、J R 館山駅橋上駅舎化等調査設計の内容変更によりまして、委託料で 931万円、館山駅西口土地区画整理事業にかかわる市街地整備用地購入費で 4,529万 7,000円、地上物件等補償費で 1,667万 9,000円、都市計画街路整備事業にかかわる用地購入費で 557万 3,000円、これらは地権者との交渉不調によるものでございます。下水路工事請負費で入札残及び関係機関との調整難航によりまして 1,200万円、地域排水路整備事業の県事業費変更によりまして、負担金で 1,773万 4,000円、県立館山運動公園整備事業の事業内容変更によりまして、負担金で 540万円、消防費では防火水槽建設工事請負費で、事業量の変更によりまして 341万 1,000円、教育費では小学校費にかかわる水道使用料で使用水量の減によりまして 376万 4,000円、要保護及び準要保護援助費で対象児童数の減によりまして 205万円、館野小学校

プール建設工事請負費で 569万 9,000円、北条小学校校舎等改修工事請負費で 230万円、これらはそれぞれ入札残によるものでございます。中学校費にかかわる要保護及び準要保護援助費で、対象生徒数の減によりまして 276万円。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして市税、普通交付税、繰越金等により充当しようとするものでございます。

このほかに、市道1031号線道路改良事業及び都市計画街路整備事業で、家屋等の移転につきまして年度内の完了が困難となりましたので、繰越明許費の設定、また生活排水処理施設整備事業を初め、11事業につきまして地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第36号 昭和63年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出それぞれ 8,193万 9,000円を減額し、総額27億 5,098万 3,000円としようとするものでございます。主な歳出といたしまして、医療給付費で1件当たり平均単価の減によりまして 8,162万 9,000円の減、主な歳入といたしまして、支払基金交付金、国・県支出金で1億 1,650万 1,000円の減となりますので、補正財源といたしまして、議案第35号で御説明申し上げました一般会計からの繰入金 3,456万 5,000円をもって充てようとするものでございます。

次に、議案第37号 昭和63年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、資本的支出におきまして企業債償還金で1億 8,850万 2,000円の追加、これは議案第35号で御説明いたしました一般会計からの出資金によりまして、企業債の繰上償還を実施しようとするものでございます。

以上、私の所信と諸議案を御説明いたしました、「千葉の時代」と言われ、とりわけ南房総地域の開発ポテンシャルが高まる今日を的確にとらえ、「活力ある文化福祉都市」を確固としたものに築き上げなければなりません。

議員各位並びに市民の皆様方とともに新しい半世紀に向けて出発する年と考えますので、今後とも一層の御理解と御協力を切にお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては御質問に応じ、私または事務担当者からお答えいたしたいと存じます。

また、この会期中追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について及び館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。ありがとうございました。

◎議長（飯田義男君） 以上で市長の施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前11時03分

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明3月2日から8日まで議案調査のため休会、次会は3月9日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。行政一般通告質問の締め切りは、3月4日午前11時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第5号乃至議案第37号